

## ◎イギリス、フランス、ドイツ、ロシアの図書館：近世から現代

◆別紙資料出典：世界の図書館百科. 藤野幸雄編著. 日外アソシエーツ. 2006.

### ◆この時代のトピック

#### 時代の変化

- ・修道院図書館が衰退し、大学図書館や王侯図書館が発達。(聖から俗へ)

#### 活版印刷術の発明

- ・15世紀中頃(1445年頃?)に、グーテンベルクにより始まったといわれる。
- ・16世紀初め頃までにはヨーロッパ各地に広まる。

#### 納本制度の開始

- ・1537年に、フランスで世界初の納本制度。
- ・イギリスでは、1610年にオックスフォード大学ボドリアン図書館で開始。
- ・その後、ヨーロッパ各国に広まる。

#### 公共図書館制度の成立

- ・1850年に、イギリスで公共図書館法成立
- ・一般市民に公開される図書館が、公費によって運営されるようになった。
- ・ただし、現代の公共図書館とは異なる部分も多かったといわれている。

#### 各国の国立図書館の新たなスタート

- ・20世紀末から21世紀にかけて、国立図書館の組織が大きく変わった。
- ・イギリスでは、1973年に英国図書館発足。1998年に新館開館。
- ・フランスでは、1996年にフランス国立図書館発足。新館開館。
- ・ドイツでは、東西統一後、ディ・ドイチェ・ビブリオテーク発足。2006年にドイツ国立図書館に。
- ・ロシアでは、ソビエト連邦の崩壊後、モスクワとペテルブルクの図書館がともに国立図書館に。

1300 頃～	修道院図書館の衰退／大学図書館や王侯図書館の発達
1373	イギリス、オックスフォード大学マートン・カレッジ図書館 (現存する最古の大学図書館)
1445 頃?	《活版印刷 (グーテンベルク)》
1517	《宗教改革 (ルター、九十五か条の論題)》
1536	イギリス、修道院解体 (修道院付設図書館廃止)
1537	フランス、王室図書館、納本制度開始 (世界初)
1550	イギリス、迷信深い図書の破棄の立法措置
1572	ドイツ、現在のヴォルフエンビュッテル・アウクスト公爵図書館のコレクション設立
1584	イギリス、エジンバラ大学に図書館設置 (縦置き書架。体系的目録)
1600 頃～	イギリス、教区立無料図書館、教区民図書館、会員制図書館、コーヒーハウス
1610	イギリス、オックスフォード大学ボドリアン図書館、納本制度開始
1624	フランス、サント・ジュヌヴィエーヴ図書館 (16 世紀の僧院が起源。1851 年に新館開館)
1643	フランス、マザラン図書館 (当初は研究者にのみ公開。後に一般公開)
1660	イギリス、王立協会に図書館設置
1699	ドイツ、プロイセン領内で納本規定
1709	イギリス、教区図書館維持法 (イギリス初の図書館立法)
1714	ロシア、ロシア科学アカデミー図書館設立
1734	ドイツ、ゲッチンゲン大学にハノーファー公の蔵書寄贈 (図書館の基礎に)
1757	フランス、アルスナル図書館 (革命後の 1797 年に公共図書館に)
1759	イギリス、大英博物館図書館 (現在の英国図書館の前身)
1789	《フランス革命》
1792	フランス、革命により全国の図書館は国有財産に、王室図書館は国立図書館に
1795	ロシア、帝国公共図書館設立 (現在のロシア国立図書館)
1800 頃～	イギリス、職工学校図書館の普及、新設大学とその付設図書館の発展
1803	フランス、革命による蔵書を核に、全国的な市立図書館網の形成の開始
1839	フランス、図書館の中央集権的組織網の確立
1841	イギリス、ロンドン図書館 (会員制図書館)
1850	イギリス、公共図書館法

1850	ドイツ、ベルリンに公共図書館開設 (公費負担としての最初)
1857	イギリス、大英博物館図書館、円形ドーム閲覧室完成
1862	ロシア、ルミャンツェフ博物館附属図書館 (現在のロシア国家図書館)
1870-1871	《普仏戦争、フランス敗北、フランス第三共和制:1870-1940、ドイツ帝国:1871-1918》
1874	フランス、国立図書館、新刊図書の印刷目録カード作成・配布開始 (世界初)
1877	イギリス、図書館協会創設 (世界で2番目の図書館協会)
1883	イギリス、科学博物館に図書館付設
1897	フランス、国立図書館、印刷図書総目録刊行開始 (1981 完結)
1912	ドイツ、ドイチェ・ビューヘライ (ライプチヒ)
1914-1918	《第一次世界大戦、ドイツ敗北、ワイマール共和国:1919-1933》
1917	《ロシア革命》
1927	イギリス、ケニヨン報告 (全国的な図書館サービスの充実の勧告)
1929	《世界大恐慌》
1930年代	イギリス、全域に公共図書館サービス
1939-1945	《第二次世界大戦、ドイツ敗北～東西分裂へ》
1942	イギリス、マッコルビン報告 (公共図書館システムの整備を勧告)
1947	西ドイツ、ドイチェ・ビブリオテーク (フランクフルト・アム・マイン)
1973	イギリス、英国図書館発足 (イギリスの複数の組織を統合。1998 新館開館)
1990	《東西ドイツ統一》
1990	ドイツ、ディ・ドイチェ・ビブリオテーク (東西ドイツの複数の図書館を統合)
1996	フランス、フランス国立図書館 (国立図書館の機構改革、国立図書館から名称変更)
2006	ドイツ、ドイツ国立図書館 (ディ・ドイチェ・ビブリオテークから名称変更)